



一般社団法人 電波産業会

Association of Radio
Industries and Businesses

No.1124 2018 年 5 月 28 日

5 月 15 日～6 月 15 日は「情報通信月間」です

期間中は、「ICT で つなげる ひろがる 明るい社会」をテーマに、情報通信の普及・振興を図ることを目的として、「記念中央式典」をはじめ、全国各地で情報通信に関する様々な行事が開催されます。ARIB でも情報通信月間行事として本年も「電波の日記念講演会（5 月 28 日）」、「周波数資源開発シンポジウム 2018（7 月 6 日）」を開催します。

ARIBからのお知らせ

第 107 回規格会議の決議に基づく標準規格等の電子ファイルの公開について

2018 年 4 月 12 日(木)に開催された第 107 回規格会議の決議に基づき、標準規格（策定 2 件、改定 16 件）、技術資料（改定 7 件）について、電子ファイルを ARIB Web サイトの標準規格等一覧(<https://www.arib.or.jp/kikaku/index.html>)に公開しました。

また、ARIB 会員でない方向けに、ARIB Web Store(<https://webstore.arib.or.jp/jp/>)において標準規格等の販売を行っておりますので、併せてお知らせいたします。

1 策定が決議された標準規格（議案順）

標準規格番号	最新版数	標準規格名
STD-T118	1.0	時分割・直交周波数分割多元接続方式デジタルコードレス電話用無線設備標準規格
STD-T119	1.0	200 MHz 帯広帯域移動無線中継通信用無線設備(可搬型)標準規格

2 改定が決議された標準規格（議案順）

標準規格番号	最新版数	標準規格名
STD-28	7.1	第二世代コードレス電話システム標準規格
STD-T63	13.20	IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD
STD-T104	5.20	LTE-Advanced System ARIB STANDARD
STD-T94	3.6	Broadband Mobile Wireless Access System (WiMAX™ applied in Japan)ARIB STANDARD
STD-T95	3.6	OFDMA/TDMA TDD Broadband Wireless Access System(XGP)標準規格

STD-T86	3.1	市町村デジタル同報通信システム標準規格
STD-T115	2.1	市町村デジタル同報通信システム TYPE2 標準規格
STD-B10	5.12	デジタル放送に使用する番組配列情報標準規格
STD-B32	3.10	デジタル放送における映像符号化、音声符号化及び多重化方式標準規格
STD-B60	1.12	デジタル放送における MMT によるメディアトランスポート方式標準規格
STD-B62	1.9	デジタル放送におけるマルチメディア符号化方式(第2世代)標準規格
STD-B61	1.4	デジタル放送におけるアクセス制御方式(第2世代)及びCASプログラムのダウンロード方式標準規格
STD-B25	6.6	デジタル放送におけるアクセス制御方式標準規格
STD-B63	1.7	高度広帯域衛星デジタル放送用受信装置(望ましい仕様)標準規格
STD-B21	5.10	デジタル放送用受信装置(望ましい仕様)標準規格
STD-B1	3.2	CS デジタル放送用受信装置(望ましい仕様)標準規格

3 改定が決議された技術資料(議案順)

技術資料番号	最新版数	技術資料名
TR-T12	13.20	IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB Technical Report
TR-T19	5.20	LTE-Advanced System ARIB Technical Report
TR-B39	1.7	高度広帯域衛星デジタル放送運用規定技術資料
TR-B31	2.0	ファイルベースによる番組交換方式 技術資料
TR-B36	1.1	超高精細度テレビジョン番組制作用ディスプレイの色域包含率計算法技術資料
TR-B40	1.1	超高精細度テレビジョンの番組制作における白色 LED 照明の演色性指標と推奨値技術資料
TR-B41	2.0	テレビジョンカメラシステムの解像度特性測定法技術資料

IPR 検索サービスについては、今回の規格会議に関する IPR 情報を近日中に更新する予定です。この検索サービスは以下の URL でご利用いただけます。

<https://www.arib.or.jp/IPR/index.php>

日中韓情報通信標準化会議 第 52 回 IMT WG 会合の概要

日中韓情報通信標準化会議（CJK）第 52 回 IMT WG 会合が開催されました。

- 1 日 程： 2018 年 5 月 16 日（水）～17 日（木）
- 2 場 所： Hangzhou Haihua Hotel（中国・杭州）
- 3 出席者：

各標準化機関のメンバーとして、ARIB から 8 名、CCSA（中国）から 16 名、TTA（韓国）から 5 名が参加しました。

- 4 会合の目的：

CJK IMT WG 会合は、日中韓 3 ケ国の標準化機関（SDO: Standards Development Organization）の ITU-R、APT 及び 3GPPs 等における IMT の国際標準化に対する取り組み等に関する情報・意見交換、及び共同寄与文書作成を行うことを目的としています。

- 5 主要結果：

- ・ 4 月に開催された第 23 回 ASIA-PACIFIC TELECOMMUNITY Wireless Group (AWG-22) 会合、5 月に開催された第 5 回 ITU-R SG5 Task Group 5/1 (TG 5/1) 会合、および 2 月に開催された第 29 回 ITU-R SG5 Working Party 5D (WP 5D) 会合の結果結果に加え、各 SDO の活動報告、3GPP の議論状況報告に関して確認を行いました。
- ・ 各国の ITU-R への IMT-2020 技術提案の検討状況、外部評価グループの活動状況に関して情報共有を行いました。
- ・ 6 月 13 日から開催予定の第 30 回 WP 5D 会合に向けた各国の準備状況について情報共有を行うとともに、2 つの Special Interest Group (SIG-Spectrum, SIG-Evaluation) の活動状況を踏まえ、各 SDO の提案内容の共通部分を基に共同寄与文書化について検討を行い、2 件の寄与文書について共同寄与文書化の検討を進めることになりました。
- ・ TTA からの提案に基づき、新たな SIG として Cellular V2X (SIG-V2X: 車車間・路車間通信) を新設し、SIG 議長を TTA の Park 氏として、次回 CJK IMT WG 会合から情報共有・議論を開始することになりました。

- 6 次回会合のスケジュール：

次回は、2018 年 9 月 5 日～6 日にチェジュ(韓国) で開催される予定です。



会場の様子

「第 5 回 グローバル 5G イベント」の概要

第 5 世代移動通信システム（5G）の実現を目指して、各国・地域の 6 つの 5G 推進団体が持ち回りで開催しているグローバル 5G イベントの第 5 回会合が開催され、第 5 世代モバイル推進フォーラム（5GMF）から参加したので、その概要をお知らせします。

本イベントは、「5G New Horizons Wireless Symposium」をテーマに、活発な議論がおこなわれ、並行して「5G North America」のセッション及び展示がおこなわれたことから、多くの来場者を集めました。

1 イベント概要

- ・日時：2018 年 5 月 16 日(水)～17 日(木)
- ・場所：Austin Convention Center (米国 テキサス州 オースティン)
- ・主催：5G Americas
- ・登壇者：日本からの以下の 6 名を含む約 50 名のモデレータ・パネリスト
 中里氏（総務省）、松永氏（KDDI）、奥村氏（NTT ドコモ）、
 中村武宏氏（NTT ドコモ）、中村隆治氏（富士通）、佐藤事務局長（5GMF）

2 講演・セッション

- ・日米欧中韓伯の主管庁、5G 推進団体、専門家と業界関係者、合計 300 名以上が参加。
- ・5G Americas の Chris Pearson 会長から歓迎の挨拶があり、続いて会長と FCC Legal Advisor の Umair Javed 氏が対談する形で、オークションの可能性を含めて周波数の割り当てを中心とした基調講演がおこなわれました。
- ・2 日間のイベントでは、7 つのキーノートと、9 つのショートプレゼンテーションを含むパネルディスカッションがおこなわれ、商用化に向けたテーマで活発な議論がおこなわれました。
- ・イベントでは、各国の周波数割り当てや実証試験の状況、サービス開始時期などが報告されました。また、5G は実証試験の段階となったが、まだシステム展開、規制、ビジネスモデル、周波数など、さらに議論や計画準備が必要であること。5G の商用化には、引き続きバーティカル（利用産業）との連携が重要になるといった共通の認識が示されました。
- ・日本からは、6 名が以下のキーノート/モデレータ/パネリストとして参加しました。

中里室長（総務省）	パネリスト	The Progress of 5G Spectrum and Regulatory Policy
松永氏（KDDI）	パネリスト	Global Operator Viewpoints
	パネリスト	Network Architecture Transformation from LTE-Advanced to 5G
奥村氏（NTT ドコモ）	パネリスト	5G Trials and Pre-Commercial Launches
佐藤事務局長（5GMF）	パネリスト	5G Trends and Collaborations
中村武宏氏（NTT ドコモ）	パネリスト	5G Services and Use Cases
	モデレータ	5G Ecosystem
	パネリスト	The Future of 5G
中村隆治氏（富士通）	キーノート	Preparing Tokyo for 5G
	パネリスト	5G Ecosystem

- ・最後に、5G Brazil Project の Dr. Jose Marcos C. Brito 氏が、第 6 回グローバル 5G イベントを 2018 年 11 月 28 日～30 日に、リオデジャネイロ（ブラジル）において開催することを宣言しイベントを終了しました。
- ・イベント運営委員会（TPC）では、今後のグローバル 5G イベント開催について、2019 年から 2020 年頃までは年 1 回とすることを決め、欧州の 5G 推進団体である 5G-IA が 2019 年 6 月に EuCNC とコロケーションとしスペインでの開催を表明しました。



会場（オースティン コンベンションセンター）



講演会場の様子



展示会場の様子



Mr. Chris Pearson
(President of 5G Americas)



中里 学 氏
総務省
新世代移動通信システム推進室



松永 彰 氏
5GMF 技術委員長代理
KDDI



奥村 幸彦 氏
5GMF 総合実証試験
推進グループリーダー
NTT ドコモ



佐藤 孝平 氏
5GMF 事務局長
ARIB



中村 隆治 氏
5GMF 技術委員長代理
富士通



中村 武宏 氏
GMF 企画委員長代理
NTT ドコモ



第 6 回グローバル 5G イベントの告知



Dr. Jose Marcos C. Brito
5G Brazil Project

次世代地上放送技術ワークショップを開催

電波産業会 デジタル放送普及活動作業班（DiBEG）は総務省と共同で、「次世代地上放送技術ワークショップ」を開催しましたので、その概要を報告します。

今回のワークショップでは、次世代地上放送に関する技術開発を俯瞰し、その将来像を広く考える場として国内からの専門家だけでなく、ISDB-T 採用国の中で次世代の地上放送の在り方に関する検討が本格化しているブラジルからも専門家を招き、グローバルな視点を交えて次世代地上放送技術に関するご講演をいただきました。

- 1 ワークショップ名称：
「次世代地上放送技術ワークショップ」
- 2 日時： 5 月 18 日（金） 13:00～17:45
- 3 場所： DAYS 赤坂見附 3A 会議室
- 4 主催： 総務省、DiBEG
- 5 協賛： 一般社団法人映像情報メディア学会
- 6 参加者数： 約 80 名

7 主な内容：

DiBEG 議長菅原正幸氏の開会挨拶の後にブラジル、日本の専門家から地上放送技術の分野ごとに講演がありました。ブラジル側からは、ブラジルテレビ技術協会のハイムンド・バロス氏と SBTVD フォーラムのジョセ・マルセロ・ド・アマラル氏、デビッド・ブリット氏にご講演をいただきました。ハイムンド・バロス氏には、ブラジルにおける将来の新しい放送サービスに向けたいろいろな取り組みについての紹介をいただきました。ジョセ・マルセロ・ド・アマラル氏には、ブラジルのデジタル放送への完全移行に向けた具体的な計画の紹介をいただきました。デビッド・ブリット氏からは、放送の通信融合型サービスとしての **Ginga** の現状と今後の取り組みについての紹介をいただきました。

日本側からは、総務省放送技術課の小川裕之技術企画官をはじめとして、DiBEG 日伯共同作業部会等対応次世代放送検討タスクフォース主任の村山研一氏、関西テレビ放送（株）の並川巖氏、（株）TBS テレビの岡田寛正氏、及び、NHK 岡野正寛氏にご講演いただきました。小川裕之氏からは、日本における次世代地上放送に向けた研究開発の概観について紹介いただきました。村山研一氏からは、世界における次世代地上放送技術の潮流を解説していただきました。並川巖氏、岡田寛正氏には、地上放送で 2K に加えて 4K 放送を実現するための最新技術の研究開発について紹介をいただきました。岡野正寛氏からは、地上テレビジョン放送で 8K 放送を実現するための伝送技術の研究開発についての紹介をいただきました。

最後に総務省情報流通行政局の坂中靖志放送技術課長から閉会挨拶があり、ワークショップは無事終了しました。

当初の予定を超える受講申込みを頂き、参加者数約 80 名の盛況なワークショップとなりました。講演の合間に設けたコーヒースタンドでは、日本、ブラジルの参加者間で活発な意見交換が行われ、次世代の放送技術の今後の進展に対する強い関心と期待がうかがわれました。



会場の様子



ブラジル参加者と講演者

第 22 回理事会の報告

5 月 25 日(金)、当会会議室において第 22 回理事会を開催し、平成 29 年度の事業報告及び決算、第 8 回定時総会の開催等について審議し、事務局提案のとおり承認又は可決して滞りなく終了しました。

第 22 回理事会において、承認又は可決された事項の概要は、次のとおりです。

1 平成 29 年度の事業報告及び決算について

平成 29 年度の事業報告及び決算について承認の上、定時総会に付議することとされました。

2 公益目的支出計画実施報告書について

毎事業年度経過後 3 箇月以内に内閣総理大臣あてに提出することとされている公益目的支出計画実施報告書について承認の上、定時総会に付議することとされました。

3 第 8 回定時総会の開催について

第 8 回定時総会は、平成 30 年 6 月 27 日（水）午後 3 時 30 分からホテルニューオータニにおいて、平成 29 年度の事業報告及び決算、役員等の選任などを議題として開催することが可決されました。

4 その他の報告事項等

理事の職務執行状況報告、理事会決定に基づき会長に一任された入会承認等の実績報告等が行われました。

今週の ARIB 内会合(5 月 28 日～6 月 1 日)

- 5 月 28 日(月) 「電波の日記念講演会」
5 月 30 日(水) 放送国際標準化 WG/SWG
5 月 31 日(木) 電磁環境委員会 第 42 回運営幹事会

今週の国際会合(5 月 28 日～6 月 1 日)

参加を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ

**電波法施行規則の一部を改正する省令案等についての意見募集
【平成 30 年 5 月 18 日発表】**

総務省は、150MHz 帯を使用する VHF データ交換装置及び 400MHz 帯を使用するデジタル船上通信設備の導入を図るため、電波法施行規則の一部を改正する省令案等を作成しましたので、平成 30 年 5 月 19 日(土)から同年 6 月 18 日(月)までの間、意見を募集しています。

詳細については[【平成 30 年 5 月 18 日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

**ARIB NEWS
発行所**

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp